

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第四小学校長

平成31年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語と算数の2教科を実施しました。

昨年度までは、「国語A」、「算数A」（主に知識に関する問題）と「国語B」、「算数B」（主に活用に関する問題）に分けて実施してきましたが、今年度より、それらが1つにまとまった調査を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、並びに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、御理解と御協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることを御理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	63.8%			○		
算数	66.6%		○			

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	72.3%					○
書くこと	54.5%			○		
読むこと	81.7%					○
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	53.5%	○				

【考 察】

- 総合的には、全国の正答率とほぼ同等という結果でした。話すこと・聞くことや、読むことに関しては全国平均を上回っていますが、漢字の書き取りや接続語の理解に課題が見られました。読み方は同じでも表記が違う漢字が出てくると、戸惑ってしまうところがありますので、使い分けをする機会を多く設けてまいります。
- 本テストは、解答の仕方が選択式、短答式、記述式でした。記述式の解答は、子どもたちが取り組みにくい傾向がありますが、本校児童は全員が意欲的に解答することができました。日記や作文など、今後も文章を多く、長く書く機会を増やし、思考力や表現力を高めてまいります。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	63.2%	○				
量と測定	52.9%					○
図 形	76.7%	○				
数量関係	68.3%	○				

【考 察】

- 量と測定の領域に優位性が見られましたが、それ以外の領域では課題が見られました。四則計算のそれぞれの答えを「和、差、積、商」といいますが、子どもたちにはあまり定着していませんでした。式の意味を言葉で表したり、確認したりしながら学び直す機会や時間を多く取り入れてまいります。
- 今年度の問題の中には、テーマパークに家族で出かけ、乗り物や買い物で並んだ際にかかる時間を計算で求めるものがありました。家庭生活の中の日常的な場面で、算数科で学習したことを生かしていくことが求められています。授業の中でもより身近な場面を想定した問題に取り組みせながら数学的な考え方を育ててまいります。

**平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査
質問紙調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立白河第四小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、その結果及び考察の一部をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や読書の様子など家庭生活に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、是非、御家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、て、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いします。

1 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

		している	どちらかといえ ばしている	あまり していない	全く していない
小	全 国	33.1	38.4	23.0	5.5
6	白四小	29.2	45.8	25.0	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 昨年度より、生活ノートで自己の家庭生活状況の記入を累積させてきました。成果が形となって現れてきています。今後も継続して取り組んでまいります。
- 自主学習の内容がマンネリ化している傾向があるので、「家庭学習の手引き」等を参考にしながら、より計画的に学習を進められるように努めてまいります。

2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	全 国	12.4	16.9	36.8	24.1	7.6	2.3
6	白四小	12.5	25.0	33.3	20.8	8.3	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 「平日は最低でも60分以上」を目標に掲げていますが、まだ十分に達成していない状況にあります。家庭学習を全くしない児童はいないので、適切な分量を検討し、さらに習慣化を図ってまいります。
- 学習時間は重要ですが、その取り組み方もさらに意識付けを図っていく必要があります。「ゲームの合間にする」「テレビを観ながら済ませる」という取り組み方も少なくないので、集中して取り組むことの重要性を説き、より充実した家庭学習となるように努めてまいります。

3 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。

		2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	10分以上 30分未満	10分未満	全くしない
小 6	全 国	7.0	11.3	21.5	25.9	15.6	18.7
	白四小	4.2	0.0	8.3	45.8	16.7	25.0

(単位 %)

【考 察】

- 全国に比べて、読書の時間が全体的に短い傾向にあります。今年度より、「朝読書」の時間を設定し、15分程度の読書を奨励していますが、まだまだ定着しているとは言い難いので、今後は委員会活動や学校司書との連携も図りながら読書意欲を高めてまいります。
- 学校では、テストを早く済ませた後や、すき間の時間に、「マイブック」を読むことを勧めています。子どもたちが、じっくりと時間をかけて読み進めるような本を携行するよう働きかけ、いつでも本が読める環境づくりを進めてまいります。

4 読書は好きですか。

		あてはまる	どちらかといえば あてはまる	あまり あてはまらない	全く あてはまらない
小 6	全 国	44.3	30.7	16.7	8.3
	白四小	16.7	37.5	37.5	8.3

(単位 %)

【考 察】

- 読書が好きな児童の割合が全国に比べて低いことがうかがえました。「活字を読む」より「動画を観る」ことを好む児童が年々増えてきていると思われます。文章から情景や心情を思い描くことができるという読書のよさを、子どもたちにも味わわせていきたいと思えます。
- 話題となった映画やアニメ作品などは、子どもたちにとって興味深いものです。「動画を観たことで、原作を読みたいくなる」ことも読書の動機付けにつながると思えます。ご家庭でも機会がありましたら、話題の本や原作の本に触れるなど、読むことを推奨いただけたら幸いです。